

# 岡山大学皮膚科医局は...

サイエンスを愛すサブ3ランナー教授率いる個性派集団

## 医局のイメージ...

2018年7月、森実教授が就任。

毎年たくさんの新入局員を迎えて

医局は若さと活気に満ち溢れています♪

“general medicine の中で通用する

高い臨床能力を有する皮膚科医”を目指して、

医局員全員が一丸となって研鑽を積んでおります。



2019年4月 医局集合写真

うちのボスはこんな人！



森史真
岡山陸協
第30回加古川マラソン大会
平成 30年 12月 23日
県立加古川河川敷マラソンコース 競技場
フルマラソン 予選・準決勝・決
第 77 位
2° 55' 31"
の通りであることを証明す
30年 12月 23日

忙しい教授職の傍ら、日々の明朝一時間ランニングを欠かさず、サブ3を達成されています。凄すぎ…



幅広い知識とフルマラソンを走り切る体力で日々精力的に仕事をこなすスーパーマンです。

研究でも臨床でも多才な方ですが、経験の浅い若手の指導も丁寧で優しいです。



とても丁寧で温厚なお人柄ですが、決めるときはビシッと決められるクールな面も。頼もしい教授です。

## 若手医局員から一言！



大学病院での日々の診療に加え、上級医の熱いご指導や若手同士で勉強をしてそれぞれの経験を共有する時間など、とても充実し、楽しい研修生活にとっても感謝しています！

今年度は11人入局しました！同期が多く、互いに切磋琢磨して学んでいます！



相談もしやすく、アットホームな雰囲気でありながらとてもアカデミックな環境で、楽しく学んでいます！

アカデミックな先輩方、優秀な仲間たちに囲まれ、焦るような心強いような気持ちで日々身の引き締まる思いです。



[令和元年の新入局員 による  
令和ポーズ、、、らしい]

## 医局の魅力アピール

医局員の仲が良く、医局はとっても居心地が良いです。

スタッフの先生方の若手に対する面倒見がよく、困ったら相談し易い雰囲気があります。



岡山県のみならず、中国・四国地方から患者様がいらっしゃいます。希少疾患も多く勉強になります。メラノーマセンター設立で同疾患の患者様もさらに増え、病理の先生が『基底細胞癌よりメラノーマが多くない?』と仰るほど…。

<学会主催時はいつも全力で!>



岡山城での懇親会にて 医局員は和装でお迎え



スタッフ出演の  
学会用ビデオ作製

岡山のジーンズメーカーのベティスミスと  
共同開発し「ドクタージーンズ」を  
日本皮膚科学会でアピールしました♪



岡山大学 高橋 康雄 医師  
加持 達弥 医師



## <医局旅行>



毎年、お子さん連れ大歓迎の医局旅行。  
(バス乗車直後から始まる飲み会がメインという噂も…?)

## <かじろう鍋>



毎年恒例、年末の鍋会。かじろう鍋までが一年です。  
伝統的に豚肉とほうれん草は必ず入ります！

[皮膚科の臨床 61巻11号「医局ラウンジ」を編集しました]